中部 NOW

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・中部日本研修センター会報

第318号 令和3年12月号 発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター 〒470-0328 豊田市勘八町勘八27-56 TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103 E-mail: chubu@oisca.org http://www.oisca.org/



センターと会員連携で画期的事業スタート

(公財)オイスカ愛知県支部 会長 光岡 保之

<この事業の必要性>

この度オイスカ中部日本研修センターと豊田推進協議会が大きな目的を持って取り組む事業がスタートしました。

本年度は(公財)オイスカが創立60周年を迎えました。そして今後 70 周年を目指してオイスカ本部並びに中部日本研修センターが 10ヶ年計画を策定しました。特に中部日本研修センターと愛知県支部はこの10ヶ年計画を対等の立場で共有し、今後は毎年、実践、検証、見直しのサイクルでチェックしていきます。

オイスカは公益財団法人ですので利益を追求する団体ではありません。これが社会から評価される所でありますが、逆に財政基盤の脆弱さが危惧される所です。これをカバーするには会員拡大が必要ですし、もう一つはセンターの生産収入を大幅に高めていくことが大切です。

そこで10ヶ年計画では会員拡大と生産収入倍増計画を2本柱にしています。

<具体的取り組み>

生産収入倍増計画としてまず現在植栽してある桃と梅の正しい剪定を行いました。更にlhaの農地を活用して栗 30 本、レモン 30 本の植栽を実施しました。成果が出るのは数年先となりますが、心を込めて蒔いた種は必ず文字通り実を結ぶと思います。そして生産収入を上げるには、生産物の直販もしますが、もう1 つそれを加工して付加価値を高めて販売します。打つ手は無限です。

<センターのボランティア募集と登録を>

以上述べました生産収入の倍増を図るには多くの人手が必要となります。そこで県下の会員の皆様にボランティアの募集を呼びかけさせていただきます。ボランティアですので強制ではありませんし無理なことは言いません。

まずはボランティア登録を推協単位でセンターに登録をお願いします。男性でも女性でも初心者も大歓迎です。ボランティアの意志を持たれる方はセンターにご集合下さい。お待ちしています。



鈴木洋氏旭日単光章受章祝賀会

会を開催させて頂きました。 県支部主催により、鈴木洋氏の旭日単光章受章祝賀県 11月21日名鉄トヨタホテルにおいてオイスカ愛知

栄えある旭日単光章を授与されました。商工会会長としての中小企業振興の功績が認められ、支部副会長の鈴木洋氏が永年にわたる丹羽郡扶桑町令和3年度春の叙勲におきまして、オイスカ愛知県

ができました。 を賜り、和やかな中、しめやかに祝宴を執り行うことを賜り、和やかな中、しめやかに祝宴を執り行うこと支部幹事、各推進協議会役員三十名の皆様にご出席祝賀会当日は、光岡保之愛知県支部会長をはじめ

川上洋右(筆) でいました。 川上洋右(筆) がいました。 エストン・アルー はいまして鈴木洋氏の受章の祝賀と、ご出席を賜りてもたいへん有り難いお言葉を頂くことができました。 世界平和に貢献して参りますと、オイスカにとりまし世界平和に貢献して参りますと、オイスカにとりまし世界平和に貢献して参りますと、オイスカにとりました。 受章された鈴木洋氏よりオイスカへ入会してから40 受章された鈴木洋氏よりオイスカへ入会してから40



酒向淳治先生・松石裕就先生に感謝状

酒向淳治先生に感謝状贈呈





松石裕就先生〈感謝状贈呈

名で、酒向淳治・松石裕就両氏に感謝状が贈られました。 オイスカ創立60周年にあたり、オイスカ本部より中野悦子理事長

ンティアに数多く参加いただきました。また、奥様の酒向貞子先生ともに、オイスカの海外現場での植林ボラ率先垂範の姿を示し、研修生の育成に大きな貢献をいただきました。20年間、奉仕を続けられました。研修生からはお父さんと慕われ、20年間、奉仕を続けられました。研修生からはお父さんと慕われ、酒向淳治先生は、学校長を最後に退職後、農業ボランティアとして

とで、感謝状をお渡しすることができました。職員一同、心から感謝お二人ともボランティアでのオイスカ協力・支援をいただきましたこる研修プログラム開発への助言と指導をいただきました。として、20年間、職員への研修指導、国際青年養成講座をはじめとす松石裕就先生は研修指導を専門とする中部企業教育研究会代表

小杉裕一郎(筆)

コラム

気候変動 その1

0には実質ゼロにする必要があるとされ 出量を10年間で45%削減し、205 は、2030年までに温室効果ガスの排 の感がします。この1・5度の目標達成に 候変動の実態から考えると、待ったなし 気温上昇は1・1 度とされており、今の気 **が示されました。現状は産業革命以来の** 分が干ばつになって困っています。かた があり、今、西部地区ではアメリカの約半 か月分の降水量があり災害が大きくなっ ています。線状降水帯という数時間で何 した。日本で毎年のように水害が発生し の頃は気候変動と言われる時代になりま 度以内に抑えるための対策を講ずる決意 文書に産業革命からの気温上昇を1・5 スゴーで開かれたCOP26では、 て来ています。 **にあるとされています。イギリスのグラ** こうした気候変動の原因が地球温暖化 異常気象と言われて久しいですが、 インド、スリランカでは水害です。 しかも全世界で気候変動 合意

に問題があります。ともそも自然界は動物が炭酸ガスを出していることた。現在自然の浄化作用を超える化石燃然の浄化作用によって保たれてきまし然の浄化作用によって酸素を出します。この自酸ガスを吸って酸素を出します。この自産があります。

化になるのではないかと心配です。 ルにしなければ取り返しのつかない温暖 2050年までにカーボンニュートラ

村松 明

西日本研修センターでの研修

机も出しました。6日土曜日は15人のボランティ す。今年は研修生4人だけです。私とリナさんと アのひとたちと準備しました。 ライさんが8日から16日までお手伝いに行きま 行ってまいりました。今年は昨年と一昨年と違いま した。グラウンドにテントも設置しました。いすと 毎年収穫祭があるので今年も西日本センターに

きそばはリナさんがやります。 修生がいないので、マレーシアのサテと子供用カレ をしますが今年は食堂の中でした。今年は家政研 午後は収穫祭の準備をします。いつもは外で準備 タッフのアルネルさんとさなえさんが作ります、や 毎日朝の収穫と出荷準備を皆さんとやります。 を作りました。普通のカレーは西日本センタース

数でがんばっていいもの作りました。それでもっと私 も行きたいと思います もがんばらないといけないと思いました。また来年 西日本にある畑と田んぼの広い面積を少ない人

グレゴリー(筆



SYD主催リーダー研修会開催

主催のリーダー研修会が中部センターで行われまし 11月6日(土)7日(日)に公益財団法人修養団

講義、異文化交流などの研修が実施されました。 張りのスキルアップに加え、人間力の向上につながる 高校生、大学生、社会人を対象に野外炊事やテント 今年の夏に行われたサマースクールに続き、今回は

参加者の半数は初参加で

でき、学びの多い2日間と 生とOGも参加させていた いる姿に感動いたしました。 みんなで協力して活動して えないくらい仲良くなり、 合わせたもの同士とは思 だき、とても貴重な体験が オイスカの現役インターン したが、皆さん初めて顔を

中村仁美(筆





愛知県支部 利用させていただいて パッケージとして長年 オイスカ卵の販売の 求めの際ご確認くだ おります。皆様お買い

村松 明(筆)

アイシン㈱が 書き損じはがきを寄贈

動ボランティアで集まった書き損じ 外の国際協力活動のために活用 されます。アイシン様は、法人会 きました。はがきはオイスカ国内 はがき442枚の寄贈をしていただ 会貢献推進室)から社内の収集活 アイシン株式会社様(総務部社

加されています。

る他、タイでの植林活動(「子供



スカ活動理解も深めてもらいました。 再生プロジェクトや森林活用をテーマとした動画の視聴など、オイ 農場での体験活動に加え、研修生と一緒にパンづくり実習、海岸林 職場体験を受け入れしました。体験活動に参加した松浦正宗君 は、森林に興味があることからオイスカでの体験を希望 11月9日~11日の3日間、豊田市立高橋中学校2年生1名の



畑でにんにくの除草作業

の積み重ねの大事さ、環境 取りなど日々の小さな作業 す。松浦君、お疲れ様でし 受け入れていきたいと思いま 験。センターとしても今後も から気づいて、学ぶ職場体 いて書いてくれました。体験 を実践していく大事さ」につ 問題に個人でもできる こと 「自然を尊ぶ心の大事さ、草 松浦君は、感想文の中で

小杉裕一郎(筆)

活 動 生 修



ライさんがカブの間引き



んが小松菜の収穫



ペン教室「



後藤敦司(豊田市)

新入会(個人

(10月末までの入金を掲載

佐久間由隆(豊田市) 松本尚人•尚子(岡崎市) 逢妻交流館(豊田市) 鎌田隆志(香川県丸亀市)

|重(21/23)羽木利子

センター(30/44)大木雅俊、

渡会

昭

よし(42/44)山内一郎

アンシン建設工業 株式会社(豊田

株式会社、西野拓史郎、株式会社

アクティベ

名古屋(55/69)芳川 猛、ウーマンスタッフ

社、名古屋鉄道 株式会社、名港海運

式会社、熱田神宮宮庁、豊田合成 株式会 イト、三重産業 株式会社、愛知ダイハツ 株

株式会社レインボー(岡崎市) オイスカ友の会(豊田市) 太啓建設 株式会社(豊田市)

服部俊美(豊田市)

株式会社 サンコー(みよし市

倉本三百子(三重県四日市市)

リネットジャパングループ 株式会社 小杉裕一郎(豊田市 (大府市)

清水孝紀(豊田市

株式会社 アイシン(刈谷市) 村上典子(江南市) 小嶋則志(豊田市)

金丸善一郎(豊田市

豊田(186/237)深津秀仁、

三ツ石靖子

大豊工業 株式会社、谷口

隆

ま

刈谷(33

,44)鈴木恭子、株式会社

だる

神野重行(名古屋市

オイスカ豊田推進協議会

株式会社 三好製作所(みよし市

岡本巧(刈谷市)

豊田汽缶 株式会社(豊田市)

蒲郡(8)

10)有限会社 山本

/5) 一宮商工会議所

安城(64/75)竹下忠直

更新会員名簿(656)

板倉和也(東京都) 生興 株式会社(名古屋市) 廣瀬敏重(名古屋市 トヨタファーム(豊田市)

鈴木康予(豊田市) 明保澄雄(岡崎市) 坂元正弘(豊田市 日本モウルド工業 株式会社(安城市 佐藤美智代(豊田市) 愛知製鋼 株式会社(東海市) 中部電力 村上典子(江南市) 株式会社(名古屋市

12月31日(大晦日)と1月1日(元旦)は事務所をお休みします

物産 株式会社

式会社 はと屋、

株式会社

会社 美乃寿司、生興 株式会社

丹羽(52/57)有限会社 浅野保温、 名古屋北(19/17)藤建興業 株式会社

株式

西尾(30/39)株式会社

杉浦製作所、 稲藤商店、河合